

新 旧 対 照 表

第9次静岡県長寿社会保健福祉計画 駿東田方圏域計画（素案）

	(新) 今回の素案
<p>(旧) 第2回会議でお示しした素案</p> <p>圏域計画（素案） 駿東田方圏域</p> <p>1 圏域の概況（今後記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の概要 ○人口推移・推計 ○要介護（支援）認定者の推移・推計 <p>2 現状と課題</p> <p>(2) 自立支援、介護予防・重度化防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2018(平成30)年度現在、住民主体の介護予防の通いの場は419箇所あり、参加者数は8,854人、参加率は県平均6.5%に対し、当圏域は4.7%となっています。 <p>(3) 在宅医療・介護連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○訪問診療を実施する医療機関は、2018(平成30)年度時点で1,053箇所と、2013(平成25)年度の1,076箇所から23箇所減少しています。 ○当圏域の2025(令和7)年の在宅医療等の必要量は、7,186人となっており、うち、3,862人は訪問診療を利用しながら在宅療養することが見込まれています。(※) <p>※第7期(今期)計画策定時の推計、今後、2023年時点の推計を行い、数字を更新予定</p> <p>(略)</p>	<p>駿東田方圏域</p> <p>1 圏域の概況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駿東田方圏域は、面積は1,277k.m²、人口は642,645人で、富士山の東部、伊豆半島北部に位置します。 ○圏域の北部は、多彩な産業が集積し、先端技術産業や研究機関等の立地が進み、南部は、狩野川流域に広がる温泉を中心とした観光圏となっています。 ○圏域の総人口は、減少傾向にあり、高齢化率は2019(令和元)年10月1日現在、29.7%で、県平均の29.9%とそれほど変わりませんが、40%を超える市町がある一方で、県下でも高齢化率が低い水準にある市町があり、圏域内でも市町によって差が生じています。 <p>2 現状と課題</p> <p>(1) 自立支援、介護予防・重度化防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2019(令和元)年度現在、住民主体の介護予防の通いの場は562箇所あり、参加者数は12,080人、参加率は県平均8.8%に対し、当圏域は6.3%となっています。 <p>(略)</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当圏域の2023(令和5)年の在宅医療等の必要量は、6,550人となっており、うち、3,954人は訪問診療を利用しながら在宅療養することが見込まれています。 <p>(略)</p>

新 旧 対 照 表

第9次静岡県長寿社会保健福祉計画 駿東田方圏域計画（素案）

(旧) 第2回会議でお示しした素案	(新) 今回の素案
<p>(1) 認知症施策</p> <p>○新オレシジプランに基づく当圏域の認知症の人の推計人数は、各年齢の認知症有病率が一定の場合、2020（令和2）年度の32,333人から、2025（令和7）年度は35,850人と増加する見込みです。</p> <p>(略)</p> <p>3 課題への対応（<u>次回の圏域会議での議事事項</u>）</p> <p>(2) 自立支援、介護予防・重度化防止</p> <p>(略)</p> <p>(3) 在宅医療・介護連携</p> <p>(略)</p> <p>(1) 認知症施策（以下略）</p>	<p>(3) 認知症施策</p> <p>○厚生労働省の推計に基づく当圏域の認知症の人の推計人数は、各年齢の認知症有病率が一定の場合、2020（令和2）年度の32,333人から、2025（令和7）年度は35,850人と増加する見込みです。</p> <p>(略)</p> <p>3 課題への対応</p> <p>(1) 自立支援、介護予防・重度化防止</p> <p>(略)</p> <p>○慢性期病院退院時からの訪問歯科医の関与や口腔ケアの実施により重症化の予防が期待できるとともに、慢性期病院、訪問歯科医など関係者の連携を促進します。</p> <p>○オーラルフレイルをはじめロコモ、サルコペニア等を防止するため、保健事業と介護予防の一体的実施において、全県的に市町の介護予防事業等に協力可能な歯科衛生士等の育成を図ります。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響で、通いの場やサロンなどの活動の休止・縮小が余儀なくされていますが、少人数での開催や、家でできる運動の普及啓発など、このような状況下であっても可能な手法について圏域内で情報共有し、高齢者の心身機能低下の防止に取り組めます。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携</p> <p>(略)</p> <p>(3) 認知症施策（以下略）</p>